南相馬ブログ新聞

インターネット上のブログ(日記の一種:掲載許可済み)等からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方(滞在の方・避難された方等)が主体です。**内容は個人の意見であり公のものではありませんがそれぞれの立場での本音が書かれています。**同じ被災者・市民同士の生の意見として参考にしていただければ幸いです。

編集・発行　NPO ながおか生活情報交流ねっと soiga01@gmail.com、
新聞 PDF 置場　http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html

南相馬市から8月12日日朝　サイヤ社長のブログ

福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を経営しています。 新鮮な話題をお届け！　2012-08-07 07:40:50

http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/057e817322c1a9f5f8002dda428a65e4

『デフレ』

バブルが弾けて20年余り、デフレ経済からいまだ日本は脱却できないでいるようです。

全日食のお店の情報からや、他のスーパーなどの情報からでも、そういったことが聞かれます。しかし、東北の被災地では、既存店は昨年並みやそれよりの良い状態は続いているようです。競合店が消失したことで、生き残った店舗がその恩恵を受けているからのようです。

サイヤもそのひとつです、南相馬市のスーパーでヨークベニマル、キクチの店舗が各1店舗づつ再開していません。鮮市(ダイユーエイト)も生鮮販売をやめました。確かに人口は減っていますが、店舗も減って、サイヤも恩恵を受けているはずですが、でもそんなには多くの恩恵を受けている感じがしていません。だから、今後、お店が再開した時には少し不安があります。

今の売り上げを維持できるのか、客数がどうなるのか、心配の種は尽きません。

が、とりあえずは、今を頑張るほかはないのですが。デフレが当たり前の社会なのか、今後インフレが来ることがあるのか、見てみたいものです。

南相馬市から8月12日夜

2012-08-12 18:20:59

http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/553641fcd5880f5de24a6c1607062af8

『お盆の帰省』

お盆の帰省、若い人たちばかりではありません。震災後避難していた、お年寄りの人たちも多く帰ってきました。駅ひがし商店会の元の役員さんのある方も帰ってみえてサイヤに寄ってくれました。震災後、東京で体が悪くなり、ず～と、入院されていたようです、まだ治療中だが一時退院の許可をもらい、帰省されました。今は、白血球、血小板の数が少なく、抗がん剤投与が出来ないので、体力回復するのを待っている状態だそうです。元気なうちにみんなの顔を見に来たと言っていました。まだ72歳です。将棋が好きで、子供たちに将棋を教えていました。私もこの方のお誘いで商店会に入会しました。それからず～といろいろと教えていただいた先輩のひとりです。環境の変化から体調を悪くされる方が多くおられるようです。

南相馬市で自分の店で商売を生活をしている自分が幸せです。

##

自由　･･･　意思と力

負けてらんにぇ！みんなでなんとかすっぺ！！

南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの現地報告です。 2012-07-28 19:01:54

http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/1e7cc20c2bf0abc4be1d9d5393b52099

花火

水が欲しいなら　地下に水があるのなら
そして　私たちが水を必要としているのなら
･･･　井戸を掘らなければなりません。

待つことでも　探し回ることでも　ダダをこねることでも
権利を主張することでもありません。

ただ　掘ることだけが必要なことです。

堀りさえするならば
水脈は　確かに私たちの内に流れています。

私たちは　自由です。

その自由は
何もしないで　・・・　水を飲む自由ではありません。
水を求めて　・・・　井戸を掘る自由のことです。

私たちが　井戸を掘る意思と力とを持っている限り
・・・　私たちは　自由なのです。

にっちもさっちも行かなくなった時に　・・・

2012-08-09 20:00:54
http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/d4d1baa981165c12b4df7afcbfc4d4fd

蓮

物事が膠着状態に陥って　にっちもさっちも行かなくなった時に
これだけは手放せない　と思っていることが
その行きづまりの原因であることが多いようです。

ですからこそ　本人が
これだけは手放せない　と思っていることを　一旦　手放して
みるのです。

そうすると　事態は動き出します。
そして　物事がよく見えるように　光が差して来るのです。

##

今日のできごと　8 月 10 日(金)南相馬市生活復興ボランティアセンターのブログ　2012-08-10 17:57:56
http://ameblo.jp/minamisoma-svc/entry-11313757591.html

今日もたくさんのボランティアさんに来ていただきました。
お仕事がお休みに入っている方も多いようです。

みなさん、それぞれ大事なお休みを使って来てくださることに本当に感謝の一言です。
今日はお子さんといっしょのご家族の方がいらっしゃいました。

ちいさなお子さんには、サロンのお手伝いをいただきました。

みなさん、子ども達となかよく折り紙で楽しみました。

屋外ボランティア活動は、活動場所　3件
活動いただいた方　70人でした。
仮設住宅支援ボランティア活動は、活動場所　4件
活動いただいた方　11人でした。
ありがとうございました。

屋外ボランティア活動について
8月11日(土)のニーズ件数は5件
ボランティア人数　80人程度 を予定しています。

##

福島ライダーズナビのライダーズピット「レストラン　かつら」　ゆっ太郎（2012.08.10　10:30）相双ゆたどさ　ゆったりがどっさり。～ふくしま相双～
http://yumesoso.jp/yutadosa/archives/6076.html
福島県の観光スポット、旬の地域情報が満載！福島の旅が丸わかり！！
“福島の旅”サイト(URL:http://www.tif.ne.jp/)
うつくしま観光プロモーション推進機構のライダー専用観光サイト。

Fukushima 鉄馬好きよ福島に集結せよ！
Rider'sナビ

地元ライダー発信のおすすめコース(オンロード・オフロード)や旬の観光・イベント・レース情報など情報満載の福島バイク

通サイトです。

[福島ライダーズナビ](URL:http://www.tif.ne.jp/riders/)

“福島ライダーズナビ” ではライダー限定の、お得な宿泊情報や地元体験おすすめツーリングルート、レース・トレーニングコースの紹介などや福島でツーリングを楽しむ方に、ぜひ立ち寄って欲しい

バイク乗り限定特典つきの「ライダーズピット」をご紹介しています。

相双地域からも 1 店

南相馬市原町区の「レストラン かつら」

店長の佐藤祐司(さとうゆうじ)さんご自身もバイク歴 37 年のバイク乗り。

お店の中には、kawasaki-ZZR1100 と HONDA-BROS が。

“福島ライダーズナビ” 連動企画

モーターマガジン社の「ミスター・バイク BG」8 月号にも掲載されました。

昨年、2011 年 3 月の震災・津波と、引き起こされた東京電力による原子力発電所災害でも「住みなれた地域と店で」と避難せず、親戚や地域の方々との連絡を取り合った「レストラン かつら」の佐藤さん。

震災 2 ヶ月後の 5 月には、ツーリング仲間や地域の皆さんの後押しの声でお店を再開されました。

「レストラン かつら」店長、佐藤さんおすすめは、しょうが焼き定食(880 円)ハンバーグ、フライ、パスタ、ドリア、ピザ、デザートにソフトドリンク。

地域のファミリーレストランとして親しまれているお店です。

福島ライダーズナビの
ライダーズピット、南相馬市原町区「レストラン かつら」
「 ライダーズナビを見た 」というライダーで、お食事された
方へセットドリンクのサービスを提供します。

_/_/_/_/_/_/_/_/_/_/_/_/
◇レストラン かつら
営業時間:11:00～20:00
定休日:火曜日(祝祭日を除く)※要確認
住所:福島県南相馬市原町区大町 2 丁目 100 桂ビル 1F
TEL:0244-23-4427
_/_/_/_/_/_/_/_/_/_/_/_/
##

1 年 5 か月ぶりに自校に　南相馬市:フォトレポ南相馬
【2012 年 8 月 9 日(木曜日)】
http://www.city.minamisoma.lg.jp/photo_repo/photo_repo_201208/20120809.jsp

警戒区域が解除され、初めての夏休みを迎えた小高区の小中学校で約 1 年 5 か月ぶりに一時立ち入りを行いました。

このうち、小高小では約 40 人の児童や卒業生が訪れ、校舎内に残していた教科書などを引き取りました。

▲1 年 5 か月ぶりの教室

▲自分の持ち物を懐かしむ

▲黒板に記されたメッセージ

▲当時を振り返る

▲懐かしい机に

▲避難先から駆け付け再会

小高区の小中学生に学びと遊び場を
【2012 年 8 月 10 日(金曜日)】
http://www.city.minamisoma.lg.jp/photo_repo/photo_repo_201208/20120810.jsp

小高区の子供たちに勉強と遊びの場をと、小高区小中学校親の会は鹿島区の万葉ふれあいセンターで「夏休みフリースペース」を開催しています。

福島大や仙台白百合女子大など 5 校の大学生約 25 人が先生役になり、子供たちは 1 学期の復習をしたり、夏休みの宿題に取り組んだりしています。勉強の合間にはドッジボールやダンスなどで体を動かし、楽しく過ごしています。